

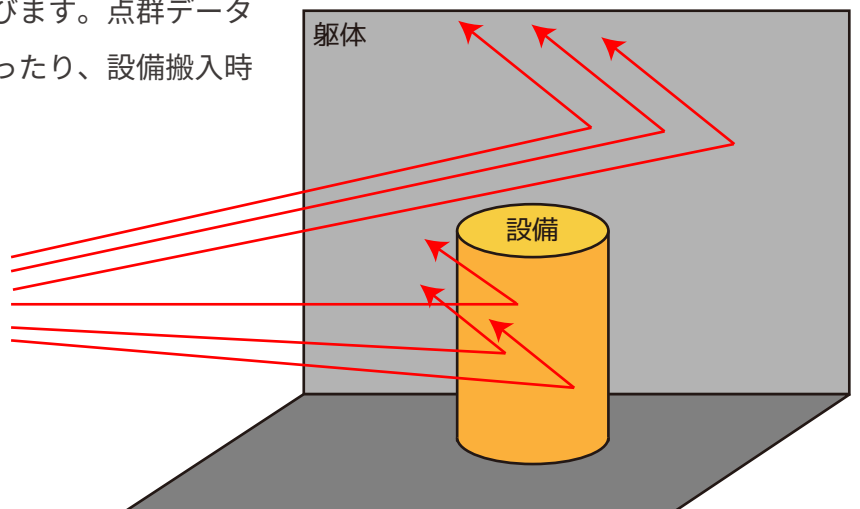
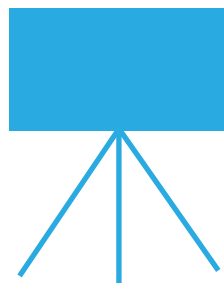
# 3D点群を取得し モデリングします



## 3D点群とは・・・

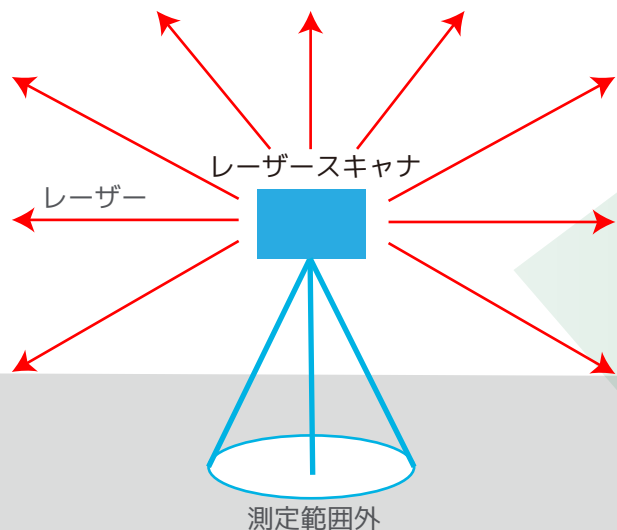
スキャナから放射されたレーザーにより、反射箇所の座標を点として取得します。その点の集合体を点群と呼びます。点群データを元にモデリングすることで距離の計測を行ったり、設備搬入時の干渉チェックなどが行えます。

レーザースキャナ



# 点群撮影から3Dモデリングの流れ

1. 撮影計画：現場の状況を確認し、死角がないようにスキャナの設置場所を計画します
2. 点群撮影：スキャナを設置し、1箇所当たり約5～10分スキャニングを行います
3. 撮影データのチェック：専用ソフトを用いて点群の取得漏れがないかチェックします



## 短時間での作業が可能

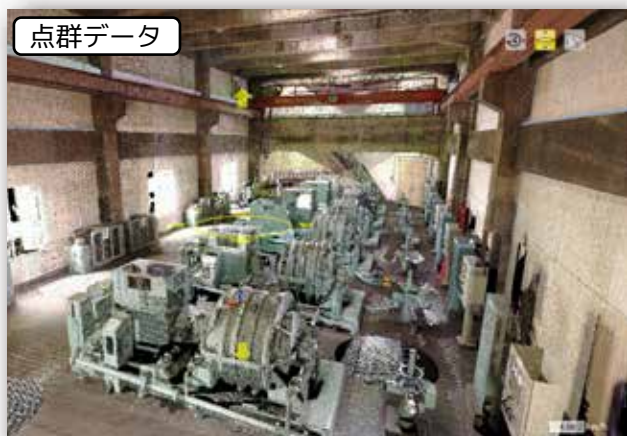
大量のレーザーを放射し、1秒間に最大2,000,000点の点群を取得可能

## 高精度データの取得

範囲誤差 ±1mm の高精度な点群が取得可能

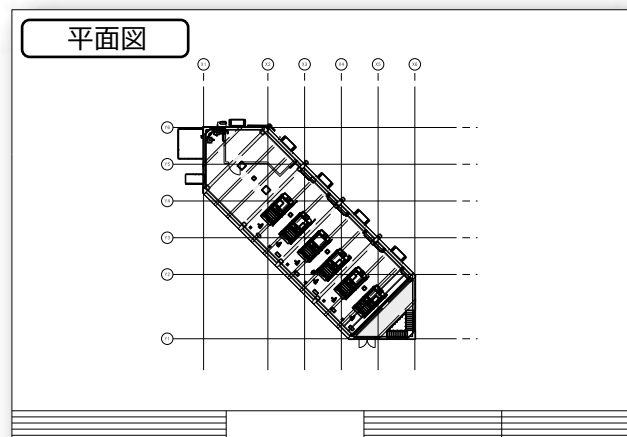
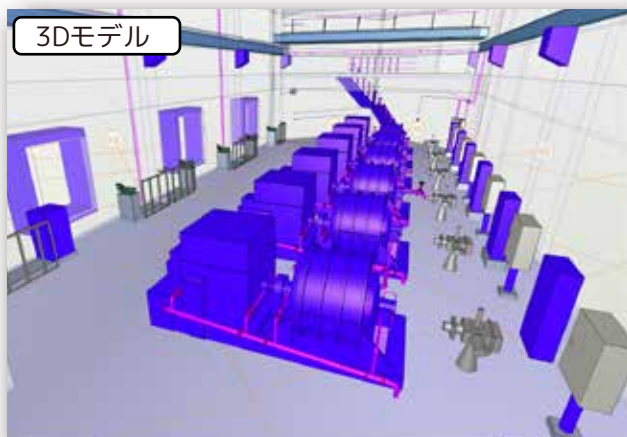
4. 点群の処理：点群処理ソフトを使用し、ポイント毎に撮影した点群を統合します

点群の統合を行うことで単体では死角だった箇所も各ポイントの点群で補い合い、確認できるようになります。また、360°自由に関覧することが可能となり、計測等の点群を活用した作業も行えるようになります。



5. モデリング：専用ソフトを使用し、点群を面化していきます

モデリングすることで平面図や断面図を作成したり、材質や設備名といった属性情報も登録が可能となります。



本サービスに関するお問い合わせ